

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野救命医療専門学校
設置者名	学校法人成田会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○授業計画書(シラバス)の作成に当たっては、「長野救命医療専門学校 シラバス作成ガイドライン」に則り作成する。授業計画書の記載内容は以下のとおりとする。</p> <p>1 授業のねらい・目標(何を学ぶか)、2 授業の進め方と方法、3 授業の計画、4 授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)、5 教科書、6 参考書、7 成績評価の方法と基準、8 実務経験のある教員による授業科目、9 学生が準備すべき機器他、10 履修上の注意事項</p> <p>○シラバスの作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程編成委員会で「シラバス作成ガイドライン」の内容を確認し、シラバスに記載する項目について検討</li> <li>・教育課程編成委員会にて、各学科長より本年度のカリキュラム、シラバスを説明し、委員より授業科目、方法の改善策を提言。</li> <li>・教育課程編成委員会で委員長(学校長)が委員の合意を得たうえで、教員会にて事務長より説明し、教員、講師に内容を周知する。</li> <li>・各学科長より科目担当教員にシラバスの作成を依頼。</li> <li>・科目担当教員が各学科長のシラバスを提出。</li> <li>・教育課程編成委員が記載事項の点検。不備のある場合は修正を依頼する。</li> <li>・教育課程編成委員が最終点検し、集計を行う。</li> </ul> <p>○シラバス作成の時期と公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成時期 冬休み明け(1月5日ごろ)から2月28日</li> <li>・公表時期 4月1日</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<p>【ホームページ】</p> <p>救急救命士学科  <a href="https://nagano-kyumeiiryoku.ac.jp/pdf/syllabus_emt2021.pdf">https://nagano-kyumeiiryoku.ac.jp/pdf/syllabus_emt2021.pdf</a>          柔道整復師学科  <a href="https://nagano-kyumeiiryoku.ac.jp/pdf/syllabus_jt2021.pdf">https://nagano-kyumeiiryoku.ac.jp/pdf/syllabus_jt2021.pdf</a></p> <p>【刊行物】          及び 配布資料「授業計画」</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業科目の学修成果の評価については、学則第25条並びに試験規程第9条に定め、教員会の議を経て成績評価および通知を行う。

○成績評価の方法と基準

「到達目標」との対応を明確にする。期末試験の「得点」および授業テーマや内容ごとの小テスト・レポート課題・宿題・学習状況や参加度等による「平常点」について、要素ごとの配分(%)と評価基準を明示し、合計が100点となるように「総合点」を算出する。

○授業科目履修の認定

【学則第25条「授業科目履修の認定」】

授業科目を履修し、各科目ごとに定められた時間数の3分の2を超えて出席し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

2 試験の成績の評価は、S・A・B・C・Dの5段階としC以上を合格とする。なお、それぞれの評価は、原則として、100点満点で90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとする。60点に満たない場合は、再試験を行い合格したものをC、不合格の場合はDとする。

以上のように、それぞれの規程等に記載されており、各学年の学習成果に基づき、予め設定した成績の評価の方法・基準により、履修認定を実施している。

○客観的指標(GPA)・・・別添 に添付

○卒業認定方針・・・シラバスに記載

○成績評価及び履修認定に関する規定は以下のとおり

長野救命医療専門学校 学則

学則 第19条 教育課程及び必要単位 及び別表1・2

学則 第24条 単位計算方法

学則 第25条 授業科目履修の認定

学則 第33条 進級、卒業

学則 第34条 卒業証書

試験規程 第9条 成績評価および通知

○授業科目履修について

課程修了に必要な単位数は以下のとおり

救急救命士学科 107単位

柔道整復師学科 100単位

以上のように、それぞれの規定等に記載されており、各学年の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生の成績評価方法の一つにGPA (Grade Point Average) を用い、履修科目の成績の1単位あたりの成績平均を数値で表す。GPAの結果を学生自らが確認し、自分の履修計画の点検材料として積極的に活用できるよう、GPAの通知は、成績表に記載することにより周知する。</p> <p>1. 成績の通知</p> <p>① 本校の成績表については、各期末試験終了後に「得点通知書」、学年末に「成績評価表」を学生並びに第1保証人に通知する。</p> <p>② 本校の成績評価基準については、シラバスに記載し学生には各学年の年度初めに配布により通知する。</p> <p>③ 本校の成績分布については各年度末に作成し、学生にはホームページ掲載にて周知する。</p> <p>2. 成績評価</p> <p>成績評価については、「S, A, B, C, D (不受験を含む)」の5段階で評価し、C以上で合格となる。なお、それぞれの評価は、原則として、100点満点で90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとする。60点に満たない場合は、再試験を行い合格したものをC、不合格の場合はDとする。</p> <p>また、GP (Grade Point) としては、「Sは4.0、Aは3.0、Bは2.0、Cは1.0、Dは0.0」とする。</p> <p>3. GPAの計算方法</p> <p>① 年度GPA・・・年度ごとに算出したもの</p> <p>当該年度に履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を当該年度の履修総単位数で除して算出する。</p> <p>② 累積GPA・・・入学時から現在の学期まで通算したもの</p> <p>入学時から現在の学期までに履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を入学時からの履修総単位数で除して算出する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>【ホームページ】</p> <p><a href="https://nagano-kyumeiiryuu.ac.jp/pdf/gpa.pdf">https://nagano-kyumeiiryuu.ac.jp/pdf/gpa.pdf</a></p> <p>【配布物】</p> <p>「学校要覧」2022年度版</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位数を取得した学生は卒業が認定されます。

I ディプロマポリシー (卒業認定・称号授与の方針)

本校が定める単位を修得し卒業が認められ、救急救命士・柔道整復師の基礎となる「確かな専門性」を身に付け、創造的に実践する技術力や、思いやりの心をもつ「豊かな人間性」を備えたと認められる者に、専門士の称号を授与します。

(卒業時に取得できる資格)

卒業に必要な単位を修得することで、下記の国家試験の受験資格が得られます。

- ・救急救命士国家試験受験資格
- ・柔道整復師国家試験受験資格

II カリキュラムポリシー (教育課程編成とその運用の方針)

1. 本校は、救命医療に携わる者として、「確かな専門性」と「豊かな人間性」を兼ね備えた学生を育成することを教育理念とし、学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目や臨床実習を開設し、体系的な教育課程を編成します。

2. 本校が設置する学科は、それぞれの専門分野に関する高度な知識及び技術を教授・研究し、消防署や病院等の実習施設と連携した教育課程の編成を行い、医療人として受容的な態度をもち、適切な技術と一人一人のニーズを理解し支援できる優れた専門士を育成します。

III アドミッションポリシー (入学者受け入れの方針)

本校は、「確かな専門性」と「豊かな人間性」を兼ね備えた学生を育成することを教育目標としているため、次のような素養を備えた学生を求めています。

(求める学生像)

1. 救命医療分野に関する専門的な知識や技術を修得するために、自発的・意欲的に学び、専門職としての役割を果たそうとする明確な目的意識を持っている者
2. 積極的に社会に関わり、様々な人の立場を尊重し、業務に深い関心を持って温かく接することのできる高い倫理観を持っている者
3. 日々、進歩する救命医療分野に適用していくために、自ら進んで課題を探究し、柔軟な思考力と判断力で解決しようとするチャレンジ精神を持っている者

以上により、進級及び卒業の認定は、試験の成績、臨床実習の評価、出欠席状況等について評定のうえ、教員会の議を経て、校長が行う。

卒業の認定に関する方針の公表方法	【ホームページ】 <a href="https://nagano-kyumeiryuu.ac.jp/pdf/policy.pdf">https://nagano-kyumeiryuu.ac.jp/pdf/policy.pdf</a> 【配布物】 「学校要覧」2022年度版
------------------	---